

令和3年度事業報告書

特定非営利活動法人 グリーンリボン推進協会

I 事業期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

II 事業の成果

我が国の臓器移植の状況は、令和2年に起こった新型コロナウイルス感染拡大により、脳死下臓器提供が69例（心停止下9例）と大幅に減少し、また令和3年も脳死下臓器提供が67例（心停止下12例）とほぼ横ばい状況であった。但し令和3年の10月ごろから徐々に回復傾向になり直近の4ヶ月は、脳死下臓器提供が34例（心停止下8例）と回復しつつあり、コロナ禍が落ち着いてくると共に、令和1年の状況に戻ると考えられる。しかしながそれでも脳死下臓器提供は100例に過ぎず、欧米はもとより近隣のアジア諸国と比べても、はるかに少ない状況であり、今後もより一層の臓器移植の普及啓発活動が必要である。

当協会は、令和3年度も2年間に及ぶ新型コロナウイルス感染の影響を受け、通常通りの活動ができていないが、当協会の使命に変わりはなく、このような状況の中、当協会として令和3年度も新型コロナウイルス感染防止を図った上、実施可能な活動に絞って臓器移植の普及啓発活動を行った。

メディアワークショップは、前年度同様にWEB会議で実施した。但し東京、大阪だけでなく全国の記者クラブに参加を呼びかけ、北海道や沖縄など他地域の参加を得ることができた。今後はメディアワークショップや移植セミナーなどは、新型コロナの感染状況にもよるが、リアルとWEBでの配信を同時に行うハイブリッド方式が主流となると思われる。

移植医療定期勉強会「みんなと学ぼうグリーンリボン」は、行えなかったが、広島において関係者を集めた勉強会をCLiP HIROSHIMAにおいて、WEBも使って開催した。これによって次年度からの勉強会の開催方法について、展望がひらけた。

当協会の最重要イベントである「ひろしまグリーンリボンフェス」は、CLiP HIROSHIMAの協力を得て、前年度同様に観客を約30人とし、スタッフを含め60人体制で名称も「ひろしまグリーンリボンフェス2021」として開催した。前年度同様にYouTubeでライブ配信し、終了後も閲覧できる様にした。ただ同時配信は、音響や通信回線の不備もあり問題を残した。今後は、同時配信でなく終了後動画編集を行った上、YouTubeでの配信とすることにした。

令和3年度は前年に引き続き臓器移植に関わる問題について厚生労働大臣宛に要望書を臓器移植に関連する患者団体5団体と協力し提出した。厚生労働省移植医療対策推進室を始め担当部署との折衝は、東京腎臓病協議会の事務局で、WEBも使って行い、回答を得た。

令和3年度は、前年度同様にコロナ禍にあり、通常の活動は非常に難しかったが、WEB配信やZOOMを使った会議などで補い、十分な成果上げることができた。まだ当協会では、人材や資金が不足する状況は続いていて臓器移植の普及啓発活動を行う数少ない市民ボランティア団体として、その役割は大きく、これからも当協会の活動に賛同し協力、支援する団体や市民とともに、焦らず、一步一步活動を前進させていきたい。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

（1）事業名：移植医療に関する正しい知識の普及啓発事業

① 移植医療定期勉強会「みんなで学ぼうグリーンリボン」開催事業

新型コロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。但しグリーンリボンミュージックライブのアーティストを含む関係者を対象にCLiP HIROSHIMAにおいてグリーンリボン講座をWEBも使って開催した。

- ・実施場所：CLiP HIROSHIMA（広島市中区）
- ・実施日時：令和3年7月25日（日）
- ・事業対象者：関係者 参加者20名
- ・収 益： 0円
- ・費 用： 0円

② メディアワークショップ

- ・内容：臓器移植法改正から10年を迎え、若干であるがメディアが臓器移植を取り上げる回数が増加したが、正しい情報及び問題点を提供することは重要と考え引き続きメディアワークショップを開催した。新型コロナウイルス感染拡大が危惧されていたため東京、大阪の合同メディアワークショップとしてWEB会議として開催した。また今回は、東京、大阪だけでなく全国の記者クラブに案内を送付し参加を募った。その結果、前回よりもメディアの参加が50%増となった。新しいメディアの参加者が多く、彼らに臓器移植、臓器提供の意義と最新の情報を提供することができた。これからは常にメディアに対して臓器移植に関する情報を発信し続ける必要がある。

講師：厚生労働省移植医療対策推進室室長 木庭 愛氏

埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター外傷診療科科長 荒木 尚先生

国立循環器病センター移植医療部部長 福畠 教偉先生

- ・実施場所：国立研究開発法人国立循環器病研究センター
- ・実施日時：令和3年9月17日（金）
- ・事業対象者：メディア関係者（参加者25名）、その他10名
- ・収 益： 0円
- ・費 用：1,760円
- 内 訳：旅費交通費1,760円

③ インターネットを通じた情報発信事業

- ・内 容：インターネットの時代と言われて久しい、現在は、誰もがSNSを通じて情報発信する時代となっている。当協会として、ホームページやフェイスブックによる情報発信は重要であり、当協会の活動を動画等を使い、情報を順次更新している。

令和3年度は、6月にホームページをリニューアルして、よりみやすく、わかりやすいサイトとし、臓器移植やグリーンリボン活動への理解をホームページを通じて行った。

- ・実施場所：事務局
- ・実施日時：令和3年4月～令和4年3月
- ・事業対象者：一般及び臓器移植の関係者
- ・収 益： 0円
- ・費 用：121,580円
- 内 訳：ホームページリニューアル費 110,000円
プロバイダー費 11,580円

（2）事業名：移植医療の普及啓発のためのセミナー、イベント等の企画、開催事業

① グリーンリボンキャンペーン開催事業

- ・内 容：今回で5回目となる広島でのグリーンリボンキャンペーン事業は、令和2年度同様にコロナ禍での開催となったため、前年度を参考にして、感染予防対策等十分行った上で「ひろしまグリーンリボンミュージックライブ2021」として開催した。
事前イベントとして10月9日（土）10時よりアート展を開始した。展示期間中には、ミニイベントを3日間開催したことにより、例年より多くの来場者が訪れた。また数名のス

スタッフが来場者に対し、活動内容、アート展示のことについて説明することができた。そのほか10月9日（土）には、絵本の読み聞かせ協力企画「心が豊かになる絵本読み聞かせ」を開催し子ども連れの方が多く来場した。10月16日（土）には、紙飛行機作成や紙芝居、つなぐんうちわ作りを行い、多くの方が来場した。10月17日（日）に金の糸を探す旅の体験会では「Kirari☆Carta☆」を開催した。（実施協力団体スマイルフラッグ）

10月23日（土）グリーンリボンフェス音楽ライブは、今回も当日の来場者は、完全予約制とし、会場であるCLiP HIROSHIMAのガイドラインのもと人数制限を行った。さらに会場では、事前に席の間隔やステージとの距離をとって設置し、会場入り口での検温、来場者名簿の記入、手指消毒を行ったうえで入場していただいた。

グリーンリボンフェス音楽ライブは14時30分にスタートしYouTubeでも同時にライブ配信をスタートした。司会は広島修道大学の学生が務めた。実行委員長の挨拶ののち音楽ライブがスタートした。今回もグリーンリボンキャンペーンに賛同したアーティストの皆さんによる素晴らしい演奏と歌声による音楽ライブは、大きく盛り上がった。また移植医療に関する手記の朗読と絵本の読み聞かせをしていただいた。また県外からのメッセージとして、インタビュー動画を作成していただいた。一人でも多くの人に意思表示の和が広がるよう、これからも活動を継続していく。トークセッションでは、移植経験談を聞くとともに、若者が持つ移植医療に関する疑問について質問を受けた。

幕間には、これも例年通り祇園北高校書道部による書道パフォーマンスを行い、書道部の皆さんが巨大な大きな半紙に、力を合わせて想いを書いて下さった。大きな掛け声とともに筆が走る様は、圧巻であり会場を盛り上げた。

フィナーレでは、当協会テーマソング「Life is colorful」をアーティスト全員で合唱した。来場者の皆さんもつなぐんうちわを手に、スタッフとともに手を振り応えた。最後に会場全体が一体となるパフォーマンスであった。

今回は、音楽ライブのみならず、移植医療に関する手記、絵本の朗読、トークセッションなど、新たなプログラムが加わり、年々活動を続けていくことで活動の輪が広がっていくことを実感した。またグリーンリボンアート展期間中にはミニイベントを開催し、親子連れの来場者の方々に、アートやグリーンリボンについて触れていただく機会を増やすことができたのは、大きな成果であった。このイベントを通じて移植医療について考えるきっかけとなってほしいと思った。

- ・実施場所：CLiP HIROSHIMA（広島市中区）
- ・実施日時：令和元年10月9日（土）～23日（土）
- ・事業対象者：一般（グリーンリボンフェス音楽ライブ参加者30名）
- ・後援：厚生労働省、広島県、広島市、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク、公益財団法人ひろしまドナーバンク、NPO法人広島県腎友会
- ・協力：CLiP HIROSHIMA、広島県立祇園北高等学校、一般財団法人絵本未来創造機構
- ・収益：0円
- ・寄附：413,707円
- ・費用：423,778円
- 内訳：会議費32,040円、旅費交通費80,440円、通信運搬費35,699円、消耗品費21,570円、印刷製本費2,500円、広報啓発費48,729円、会場設営費127,800円、外注費55,000円、音響費20,000円、

② 臓器移植推進グリーンリボンパレード事業

- ・内容：グリーンリボンパレードは、3密が避けられないとして、本年度も新型コロナウイルス感染拡大によりやむ無く中止とした。

（3）その他本会の目的を達成するために必要な事業

① 厚生労働省大臣に対する要望事業

- ・内 容：令和3年度は、全国腎臓病協議会の体制が整わなかったため、代わりに東京腎臓病協議会が参加して、臓器移植に関連する患者団体5団体として臓器移植に関わる問題について厚生労働大臣宛に要望書を提出した。今回は、厚生労働省からの要請でリモートによるWEB会議となったため、東京腎臓病協議会のご厚意により事務局に参加団体が集まり、WEBにて厚生労働省移植医療対策推進室を始め担当部署と折衝し、回答を得た。終了後これもWEBにて厚生労働記者会関係のメディアと記者会見を行った。
- ・実施場所：東京腎臓病協議会事務局（東京都豊島区）
- ・実施日時：令和3年12月1日（水）
- ・参加団体：特定非営利活動法人東京腎臓病協議会、一般社団法人心臓病の子どもを守る会
特定非営利活動法人日本移植者協議会、胆道閉鎖症の子どもを守る会
ニューハートクラブ（当協会を除く）

(4) 事業対象者：厚生労働大臣及び厚生労働省関係部署

(5) 収 益： 0 円

(6) 費 用：27,890 円

内 訳：旅費交通費 27,890 円

2 その他の事業

実施しなかった。

IV 社員総会の開催状況

定時社員総会

日 時：令和3年6月12日（土）13時30分から15時30分まで

場 所：国立研究開発法人国立循環器病研究センター

大阪府吹田市岸部新町6番1号 電話：06-6170-1070（代）

WEB会議

社員総数：15名

出席者数：9名（うち委任状出席者数1名）

- 内 容：第1号議案 令和2年度事業報告書承認の件
審議の結果、全員一致で可決承認
- 第2号議案 令和2年度活動計算書の件
審議の結果、全員一致で可決承認
- 第3号議案 令和3年度事業計画書承認の件
審議の結果、全員一致で可決承認
- 第4号議案 令和3年度活動予算書承認の件
審議の結果、全員一致で可決承認
- 第5号議案 議事録署名人の選任の件
審議の結果、全員一致で可決承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

第1回理事会

日 時：令和4年3月26日（土）13時30分から15時30分まで

- 内 容：第1号議案 令和4年度事業計画書承認の件
審議の結果、全員一致で可決承認
- 第2号議案 令和4年度活動予算書承認の件
審議の結果、全員一致で可決承認
- 第3号議案 議事録署名人の選任の件

審議の結果、全員一致で可決承認